

2026（令和8）年10月23日

北海道新幹線 おしまみなみ 渡島南 軌道敷設工事において
本線へのレール送り出し作業を開始しました

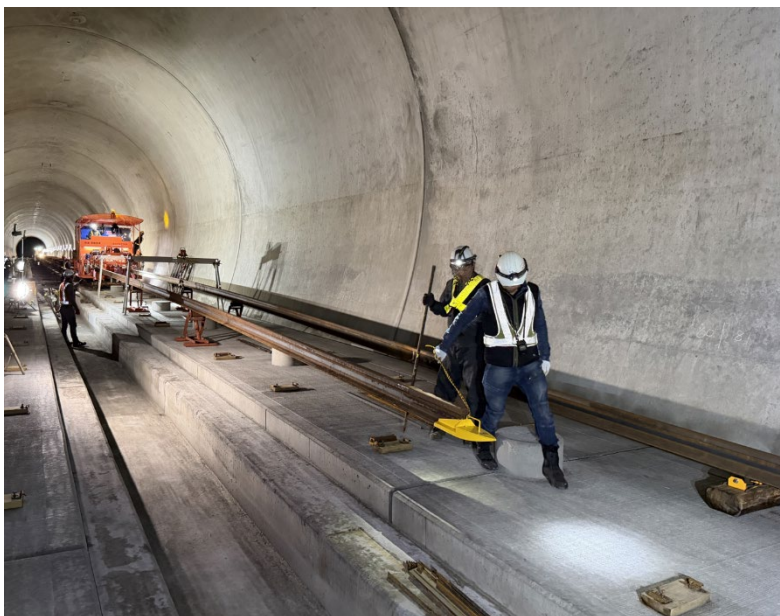
鉄道・運輸機構（以下「機構」）が2025（令和7）年10月より渡島トンネル（村山）工区内で進めていた、北海道新幹線、渡島南軌道敷設工事で使用するレールの一次溶接※が完了しました。これにより2026（令和8）年10月22日（木）から北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）工事において初めてとなる、本線へのレール送り出し作業を本格的に開始しました。

※一次溶接…長さ25mのレールを溶接し、長さ200mのレールを製作する作業

今回のレール送り出し作業は、一次溶接で製作した200mのレールを、専用の機械を用いて本線上に送り出す作業であり、完成した土木構造物の上に工事用仮軌道として順次敷設していきます。

敷設した工事用仮軌道は、軌道スラブ（レールを支えるコンクリート製の板）の運搬や敷設に利用します。また、工事用仮軌道として使用したレールは、軌道スラブの敷設が完了した後に軌道スラブ上に敷設し直し、新幹線のレールとして高速走行が可能な状態にしていきます。

【写真】レール送り出し作業の様子（撮影：令和8年10月22日）



＜本件に関するお問合せ先＞

北海道新幹線建設局 総務部 道南広報・渉外課

TEL：0138-84-6295

Mail：hokkaido-koho@jrtt.go.jp

●工事概要

工 事 件 名：北海道新幹線、渡島南軌道敷設

工 事 内 容：新青森起点 149km334m～167km660m 間（延長 18,326m）におけるスラブ軌道敷設
及び函館総合車両基地内におけるバラスト軌道等敷設工事

施 工 監 理：機構 北海道新幹線建設局

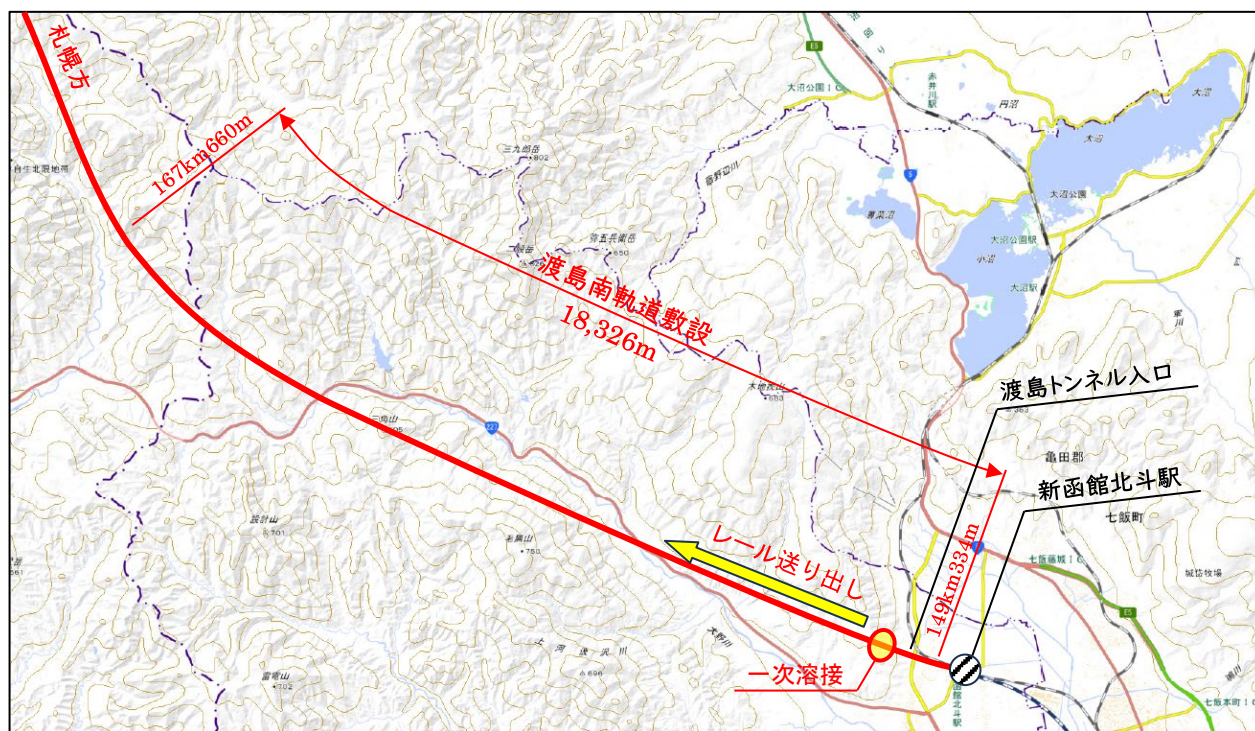
受 注 者：大鉄工業株式会社

工 事 期 間：2024（令和 6）年 4 月 2 日～2030（令和 12）年 3 月 1 日

工 事 場 所：下図参照



（レール送り出し作業開始位置）
北海道北斗市村山地内
北海道新幹線、渡島トンネル坑内



【国土地理院地図を基に作成】